

平成25年8月4日 高松市公開事業評価 結果一覧

事業番号	1	2	3	4	5	6	7	8	
事業名等	ケーブルテレビ広報事業	公有財産管理事務	乳幼児等医療費助成事業	害虫駆除事業	がん対策推進事業	ごみ再資源化事業	企業誘致・起業支援による地域産業活性化促進事業	花いっぱい推進事業	
H24年度事業費(決算)	16,863千円	185,662千円	1,110,761千円	39,977千円	318,048千円	186,266千円	4,489千円	35,619千円	
H24年度総事業費(決算)	28,772千円	241,829千円	1,129,369千円	64,539千円	341,866千円	192,965千円	12,602千円	38,075千円	
判定結果	改善継続	改善継続	改善継続	縮小	改善継続	改善継続	拡充	改善継続	
判定結果の内訳	拡充	0	3	5	0	5	5	11	3
	継続	1	5	9	0	9	6	4	3
	改善継続	10	16	11	5	11	14	8	17
	縮小	8	1	0	18	0	0	2	1
	廃止	6	0	0	2	0	0	0	1
評価者 (高松市行財政改革推進委員会委員)の主な意見	<p>(評価者)</p> <ul style="list-style-type: none"> ケーブルテレビ加入世帯数は、高松市の全世帯数から考えればかなり少なく、そのうち、市政情報番組を見る人が3割程度では、費用対効果が疑わしい。 市ホームページなど他の広報媒体の利用状況を踏まえ、広報番組のあり方を見直すべきである。 成果目標を達成するため、具体的な方策を検討すべきである。 市政情報番組を見ると答えた人の広報アンケートは3年に1回実施となっているが、もっと頻繁に実施するほうがよい。 	<p>(評価者)</p> <ul style="list-style-type: none"> 成果指標として維持管理経費の削減を目標としているが、削減に当たっては、草刈などの細かい管理基準を定めて、きめ細かい管理をしていくことが必要だろう。 未利用地の貸付や売却など有効活用を推進し、より適正な管理を行うべきである。 	<p>(評価者)</p> <ul style="list-style-type: none"> 所得制限や課税世帯への負担を求めていくべきである。 かかりつけ医をもっと活用する制度を検討してはどうか。 医療機関と連携して、コンビニ受診への対策を含めて事業の見直しを実施してほしい。 医療費の抑制や国の制度創設、県からの補助の拡大を求めるなど、事業費を減らすよう改善すべきである。 	<p>(評価者)</p> <ul style="list-style-type: none"> 網戸が完備されるなど、住宅の環境が改善されているのに実施する必要があるのか検討すべきである。 民間委託できる部分をもっと民間を活用すべきである。 駆除の必要性の再検討や駆除箇所の精査等により、事業規模を縮小すべきである。 	<p>(評価者)</p> <ul style="list-style-type: none"> 乳がんなどはメディアで取り上げられれば受診率が向上している。受診率が上がっていない状況で、広報を含め、どのように受診率を向上させるのか検討すべきである。 がん検診の受診率が2割であることを考えれば、受診券の作成委託料や、郵送料を抑制するための工夫が必要である。 要精検者であっても、何の問題もなかった場合もあり、検診の精度を向上させるべきでないか。 	<p>(評価者)</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域に補助金を出しているようだが、分別等がきちんとなされていない地区には補助金を減らしたり、逆に加算したりするなど、見直しが必要ではないか。 ごみの分別が適正になされていないことがリサイクル率の向上を妨げているので、分別のルールを周知徹底するべきである。 汚れの残っているごみの中間処理に経費がかかるのであれば、有料化を検討してはどうか。 分別方法の周知徹底や市民の意識啓発等により、ごみ分別の適正化を進め、コストの削減やリサイクル率の向上を図るべきである。 	<p>(評価者)</p> <ul style="list-style-type: none"> 起業時だけでなく、その後企業が高松市から移らないような対策をすべきである。 中小企業のニーズに対応した誘致活動を積極的に展開するなど、一層の雇用機会の拡大や産業の振興を図るべきである。 	<p>(評価者)</p> <ul style="list-style-type: none"> 街の中の花は本来、市民自ら作っていくべきだと思うが、市民にそういった活動や意識を広げていくようにすべきである。 花づくりの意識や活動は、まずコミュニティ協議会への周知を進めていくべきである。 フラワーフェスティバルでは、当日の花にかける費用を削減すべきであるとともに、イベント会場以外の花壇には人が集まっていなかったため、集客に向けての工夫が必要。 若い世代や子どもたちなど、花好きな次世代を育成する活動に力を入れるべきである。 	
市民評価者 (無作為抽出した市民の方から募集)の主な意見	<p>(市民評価者)</p> <ul style="list-style-type: none"> 広告料収入等で実施すればよい。 ケーブルテレビの料金の引き下げが加入率アップにつながるので、補助金としてはどうか。 半月に一度の更新ではタイムリーとは言えない。市報だけで充分なので、今後の推移を見ながら、縮小すべき。 インターネットでの代用が可能。 	<p>(市民評価者)</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業評価にはなじまない事業ではないか。 売却しやすいものに整備することも必要ではないか。 未利用地をコンクリート打ちっぱなしにして、草刈などの維持経費を発生させないようにしてはどうか。 広報たかまつで大々的にPRすべきである。 将来的な維持経費を考えれば、安価で売却することも有効なのではないか。 	<p>(市民評価者)</p> <ul style="list-style-type: none"> 所得制限は、親の収入で子ども健康が左右され、公平性に欠ける。小学生の通院、中学生の入院費助成の拡大は他事業を中止・削減してでも、必要である。 子どもを持つ市民が助成の強化を求めるのは当然だが、市の現状、考え方を広報すべきである。 財政難であり、現状維持が妥当である。 コンビニ受診を減らすため、現物給付を止め、すべて償還給付に変更してほしい。 	<p>(市民評価者)</p> <ul style="list-style-type: none"> 対策の必要性をもっとPRしてはどうか。 民間委託を増やしたり、自治会への薬剤配布で現状のサービスレベルは保てる。 直接実施と委託実施の基準を明確化し、見直しすべきである。 駆除の有効性が疑わしい。都市部よりも田舎の方が蚊が多いので、重点的にしてほしい。 	<p>(市民評価者)</p> <ul style="list-style-type: none"> 受診券は自分で登録してセンター・出張所などに取りに行ってもよいのではないか。 未受診者がなぜがん検診を受けないのかの検証が出てきているのか。受診券郵送だけで満足していないか。 一般企業に補助金を出して、企業にも協力を求め、受診率を向上させていくべきである。 	<p>(市民評価者)</p> <ul style="list-style-type: none"> 自治会未加入者もゴミを出しているが、これを機会に自治会の加入を促進すべきである。 民間を活用したりリサイクル率の向上に努めてほしい。 有料化するなど市民への負担を検討してもよいのではないか。市民側の意識向上が必要である。 	<p>(市民評価者)</p> <ul style="list-style-type: none"> 担当課の専任職員が2名では不十分で、充実した人材の確保が必要である。 徳島県神山町のネット企業の進出のように、高松市の良いところをPRするための戦略の明確化が必要である。 企業誘致は雇用・税収面から非常に必要な事業なので、市長自らがトップセールスを展開するなど、他県に負けない活動の充実が必要である。 	<p>(市民評価者)</p> <ul style="list-style-type: none"> イベントから日常中心の事業にシフトしてはどうか。 フラワーフェスティバルはマンネリ化しており、開催場所等の再検討が必要である。 フラワーフェスティバルを知らなかった。告知活動がもっと必要だと思う。 	